

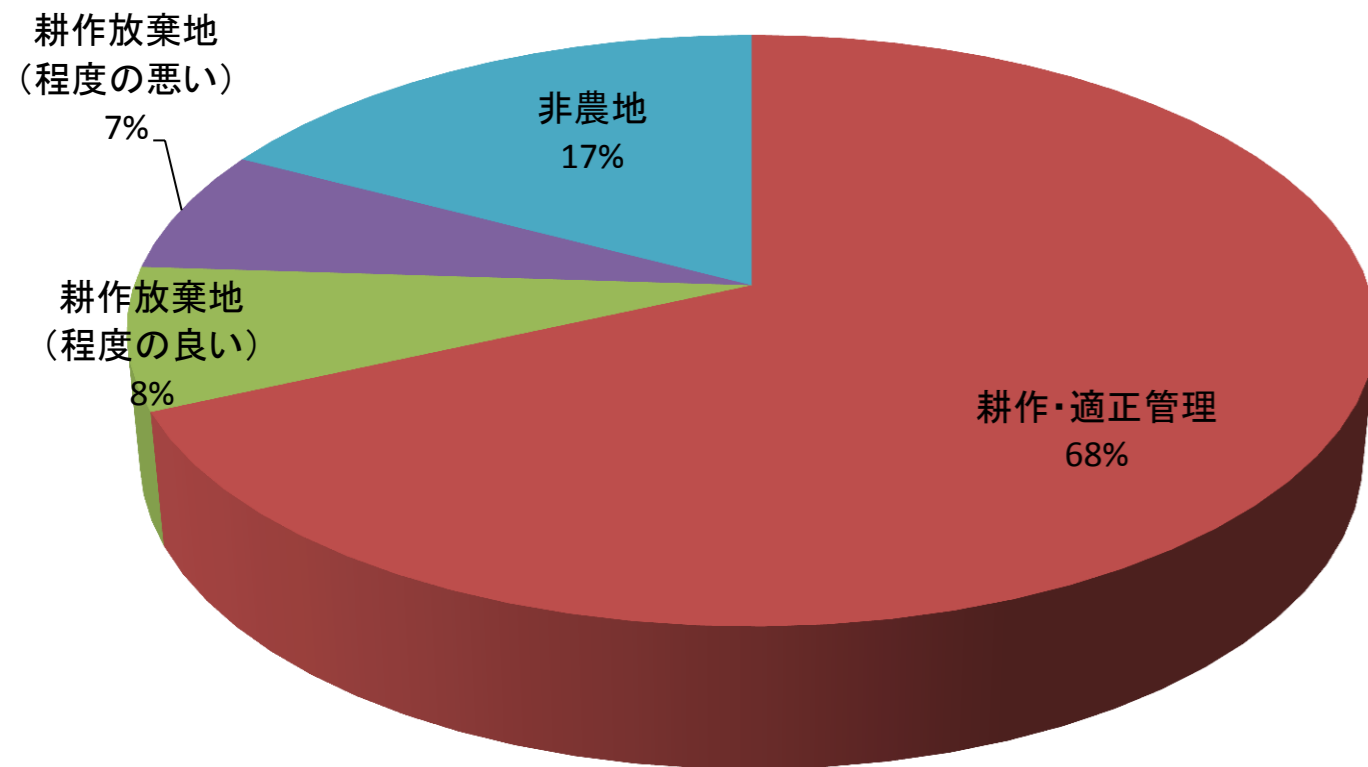
現況調査結果（地区別）

平成25年度

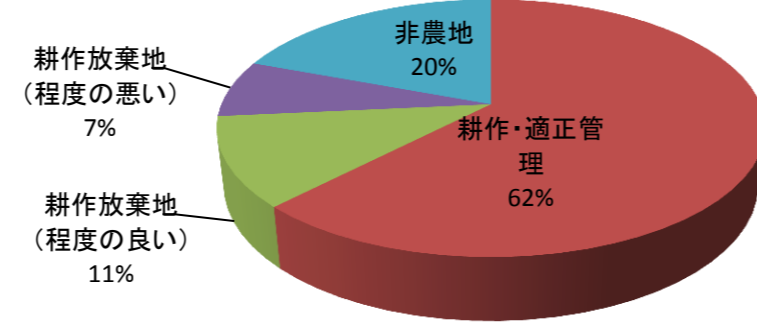
単位 m²

地区	耕作・適正管理	耕作放棄地 (程度の良い)	耕作放棄地 (程度の悪い)	非農地	面積合計
館山地区	945,856	170,492	108,943	293,321	1,518,612
北条地区	1,011,832	131,874	30,119	66,268	1,240,093
那古地区	2,215,646	363,738	58,933	227,382	2,865,699
船形地区	311,282	65,708	6,954	25,213	409,157
西岬地区	950,676	214,273	547,466	962,152	2,674,567
神戸地区	2,729,324	310,102	365,258	740,499	4,145,183
富崎地区	25,853	2,725	1,974	36,865	67,417
豊房地区	2,438,550	180,446	238,871	1,040,748	3,898,615
館野地区	2,760,794	140,626	56,793	268,328	3,226,541
九重地区	2,615,691	243,135	159,716	385,695	3,404,237
合計	16,005,504	1,823,119	1,575,027	4,046,471	23,450,121

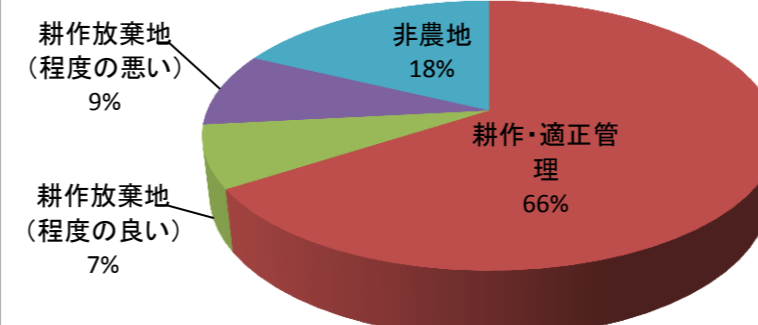
館山市全体（合計）



館山地区



神戸地区



館山市全体（合計）

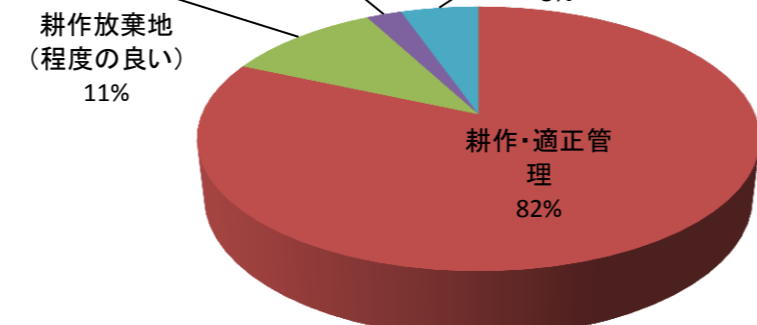
館山市全体の農地(2,345ha)のうち、約3分の2にあたる1,601haが耕作・適正管理されており、非農地が17%の405ha、耕作放棄地(程度の良い・悪い)が15%の340haであった。

山を抱えている西岬・神戸・豊房地区では、山間の谷に農地があり、現在は、山林化して、非農地化が進んでいた。また、小規模な農地、日があまり当たらない農地、水はけの悪い農地など条件が悪い農地から順に、耕作放棄地となっていた。

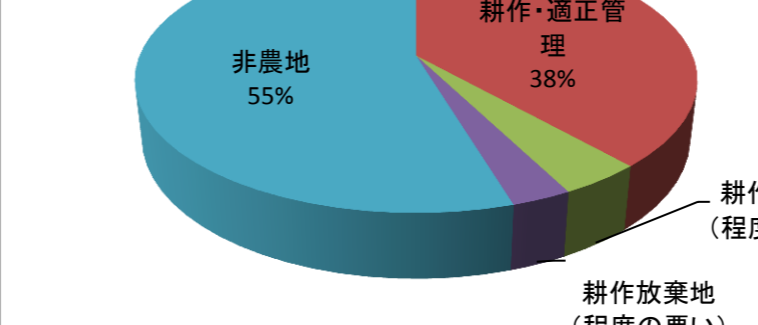
館山地区

館山地区においては、非農地の割合が、西岬地区、豊房地区に次いで多かった。特に宮城、笠名においては山があることからその割合は多く、比較的平坦な土地が広がる上真倉、下真倉地区においては、程度の良い耕作放棄地が多かった。

北条地区



富崎地区



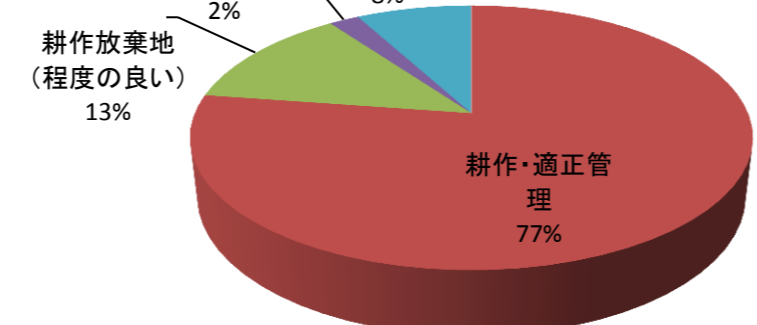
北条地区

北条地区においては、館野地区に次いで、耕作・適正管理されている農地の割合が多く、非農地の割合は、5%と一番少なく、程度の良い耕作放棄地も2%と少ない。山が無いことから、山林化している農地(非農地)がほとんどなかった。

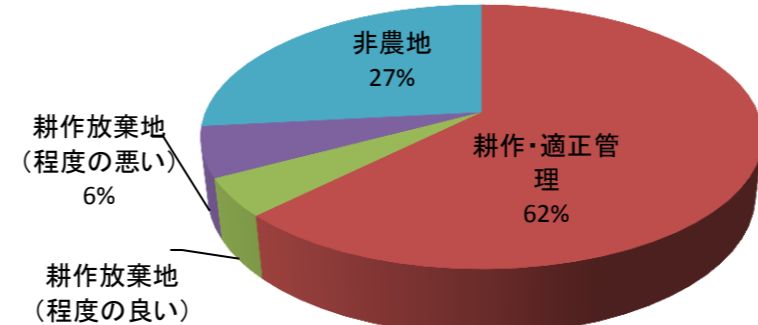
那古地区

那古地区においては、非農地の割合は8%と低いが、程度の良い耕作放棄地が13%と、割合としては高かった。なお、正木地区は、館山市の大字のなかでは、一番広い農地の広がりがある。

那古地区



豊房地区



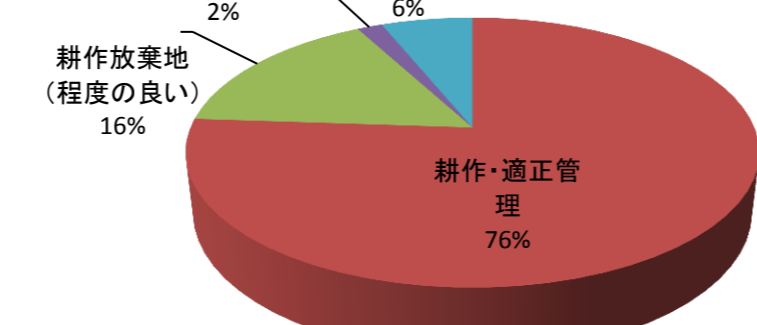
船形地区

船形地区においては、富崎地区に次いで、農地面積が少なく、程度の良い耕作放棄地の割合が、16%と高かった。

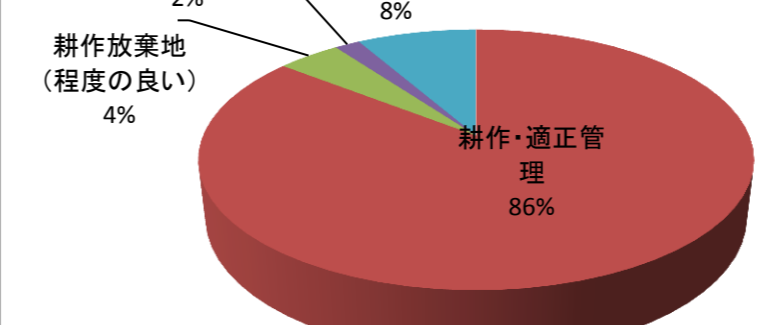
西岬地区

西岬地区においては、3分の1以上が非農地となっており、非農地予備軍である程度悪い耕作放棄地を含めると半分以上に達している。大字別にみると、塩見、波左間、坂田は、すでに非農地が半数を上回っており、見物、洲崎、西川名、伊戸、坂足、小沼は、程度悪い耕作放棄地が多かった。地形的に、山が海まで迫っており、数十年前までは、山の方まで耕作していたことが伺えた。基盤整備されていない農地がほとんどであり、急激に耕作放棄地化が進んでいる。

船形地区



館野地区



神戸地区

神戸地区においては、その割合だけを見ると、館山市全体の割合とほぼ同じであった。なお、大神宮、茂名、中里、竜岡では、非農地となっている割合が高く、佐野、藤原、洲宮においては、耕作・適正管理されている農地の割合が高かった。

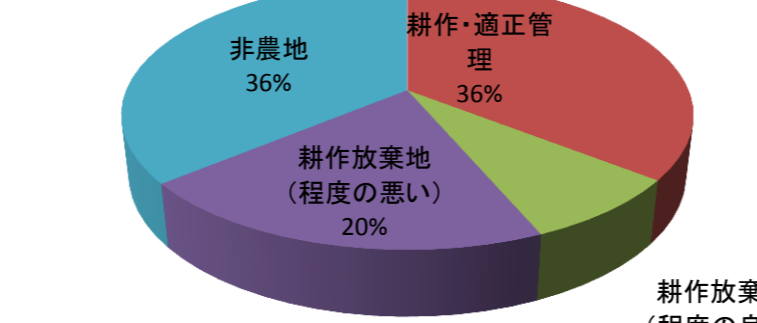
富崎地区

富崎地区においては、農地がほとんど無く、また、農地だった所もすでに非農地となっており、その割合は55%と半数を超えている。

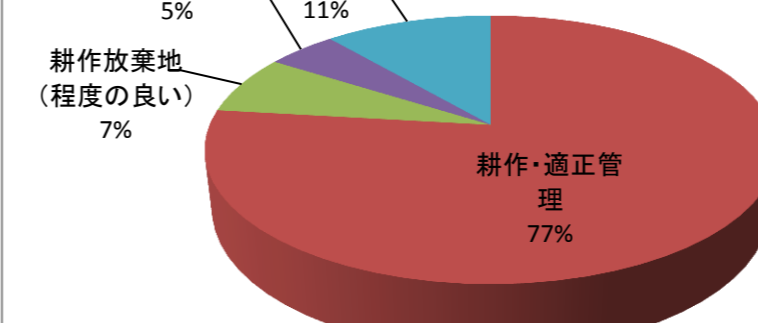
豊房地区

豊房地区においては、非農地の割合が西岬地区について、27%と高かった。大字別にみると、飯沼、畑、神余で非農地の割合が高く、大戸、作名において、耕作・適正管理されている農地の割合が高かった。

西岬地区



九重地区



館野地区

館野地区においては、耕作・適正管理されている農地の割合が高く、広瀬、安布里、腰越においては、90%以上が耕作・適正管理されている農地であった。

九重地区

九重地区においては、77%の農地が耕作・適正管理されており、その割合が高い地域は、水玉、安東で90%を超えていた。なお、宝貝、水岡においては、非農地、耕作放棄地(程度の良い・悪い)の割合が高かった。